

No.2 感情の表現・提示をサポートする コミュニケーションツール

～指さしで手軽に自分の気持ちを相手へ伝えるお手伝い～

特許第7351418号
米国出願審査中

■ 実現できること

人と話すことが苦手、語彙が足りなくて表現が上手くいかない、表情や態度で感情を表すことが難しい etc....

本人がさし示すだけで今の気持ちを相手へ伝えるサポートをしてくれる手軽なコミュニケーションツール

“**こころキューブ**” です。

例えば幼児の場合、養育者が問いかけてあげることで、自分の気持ちを理解したり、相手に想いを伝えるお手伝いをします。

こころキューブはサイコロ状になっており、各面には、

「嬉しい」 「悲しい」 「怒っている」 「怖がっている（不安になっている）」

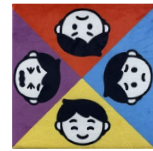
表情をした子どもの顔が、それぞれの気持ちの大きさを表す数字や図柄とともに描かれています。



■ 利用例



みんな、おはよう！
今日はどんな気持ちで幼稚園にきたのかな。



ぼくはこれ



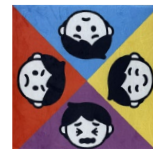
〇〇ちゃん、どうして **すごく悲しい気持ち** になっちゃったの？

ママが風邪ひいてて、幼稚園バスのところまでこられなかったの。



ママのお風邪、早くよくなるといいね。

うん！ **ちょっぴりにここにこ** になれたみたい。



①（上から見た図で）気持ちを聞いて



どんな気持ちかな

②子どもが選んだ
顔の面へくるん



とってもニコニコかな
ちょっぴりニコニコかな

③その気持ちの大きさを
聞いてあげてください

No.2 感情の表現・提示をサポートするコミュニケーションツール

～指さしで手軽に自分の気持ちを相手へ伝えるお手伝い～

特許第7351418号



■ 利用イメージ・ビジネスイメージ

1人1個、家庭に1個、クラスに1個、日常に溶け込みながらおもちゃ・クッションなどとして、普段使いしながら、必要なときにはコミュニケーションツールとして活用していく。

日常のコミュニケーションにも



遊びのおもちゃにも



製品

販売

家庭

保育園・幼稚園

発達支援センター

■ 本技術の優位点

- ・ 遊びや日常の中で、自分や相手の感情を理解・表現したりといった感情の発達を支援することができる。
- ・ 発砲スチロールや既存のクッションを利用し、クッションカバーとしてコストを抑えながらの導入も可能。

■ 本技術導入によるメリット

- ✓ 感情発達・表現の支援
- ✓ コミュニケーションの活性化